

第10号

平成27年8月21日発行

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

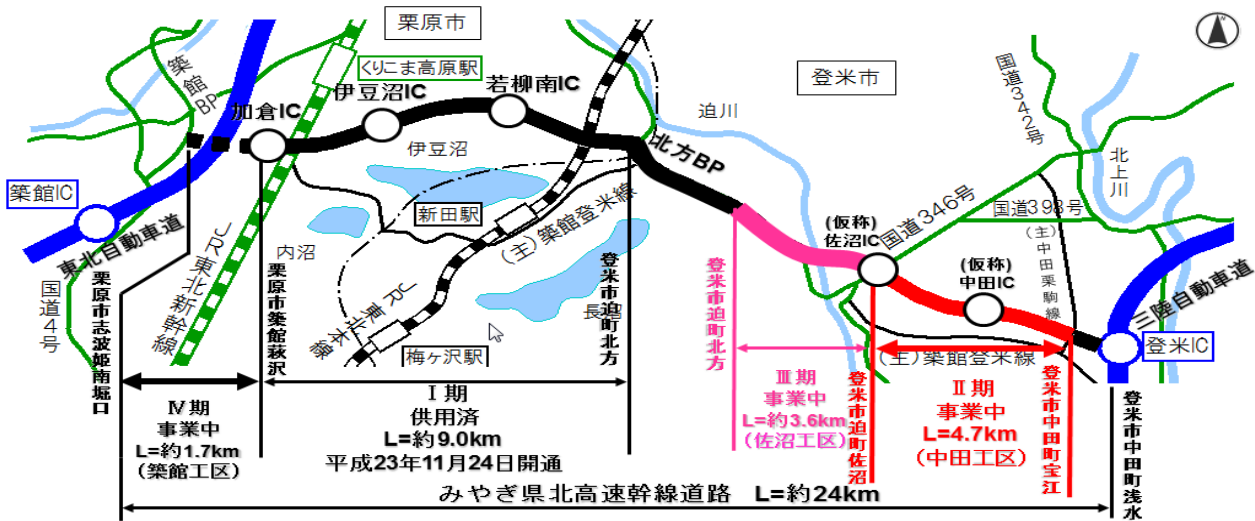
東部土木登米地域だより

みやぎ県北高速幹線道路（復興支援道路）

～ 事業概要 ～

みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北縦貫自動車道と三陸沿岸道路を東西に結ぶことにより、地方中心都市の相互連携の強化を図るとともに、防災面における道路ネットワークの構築を図る地域高規格道路です。また、本事業は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトにおいて、復興支援道路として位置付けられています。

当事務所が担当する区間は、みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）及びⅢ期（佐沼工区）で、三陸沿岸道路の登米ICから登米市迫町北方までを結ぶこととしています。



Ⅱ期（中田工区）の進捗状況



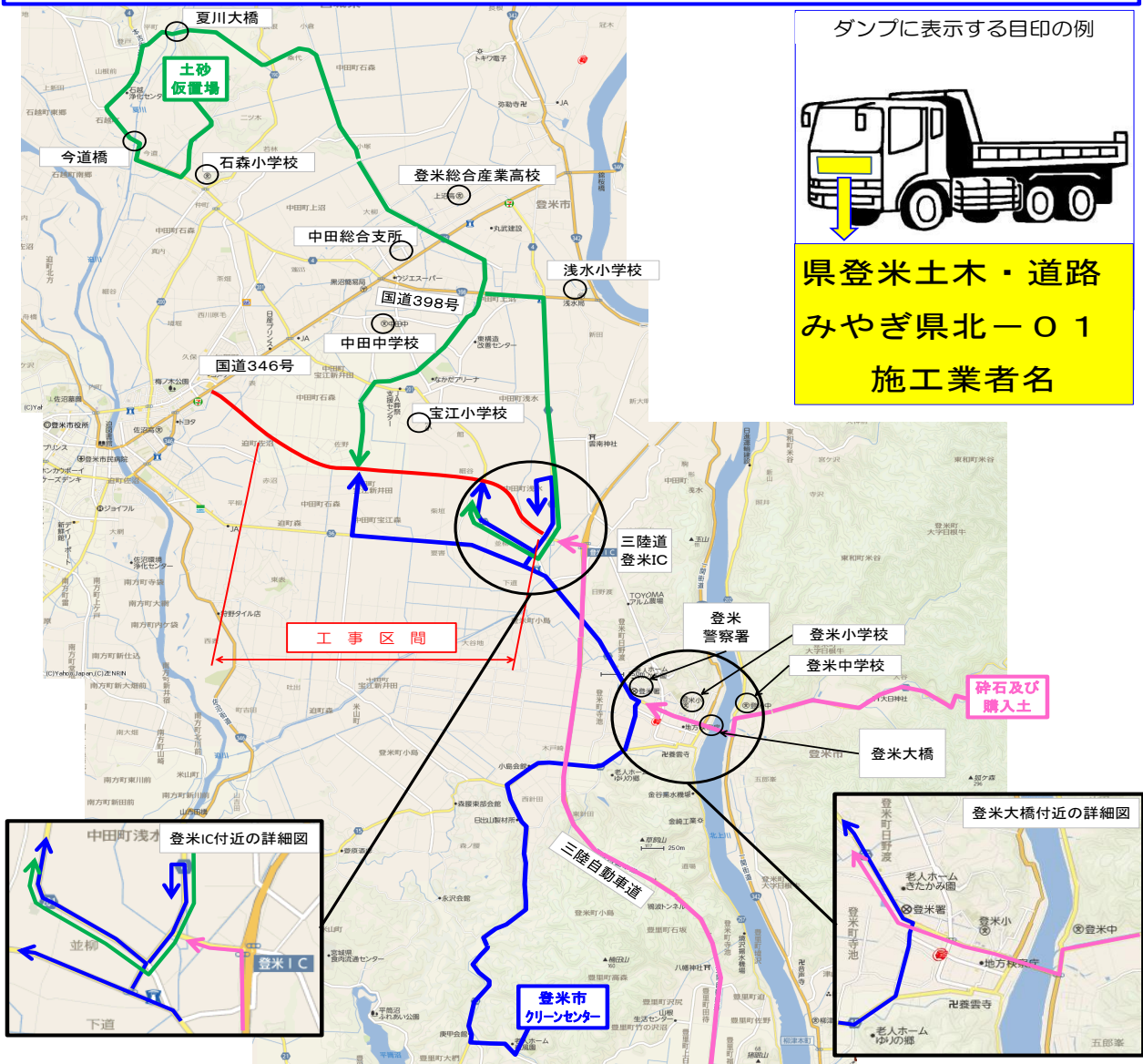
Ⅱ期（中田工区）については、国道346号と接続する（仮称）佐沼ICの東側から三陸沿岸道路登米IC側の終点までの区間において、道路改良工事2件と橋梁工事1件の合計3件の工事に着手しております。現在3工区とも、軟弱地盤対策としての地盤改良工事を行っており、地盤改良が完了したところから、順次、道路盛土工事及び橋梁本体工事に着手する予定とし、平成29年度の完成を目指し事業の進捗を図ってまいります。

Ⅲ期（佐沼工区）の進捗状況

Ⅲ期（佐沼工区）については、5月中旬から6月下旬にかけて、地権者の皆様を始めとした関係者の方々に協力をいただき、現地での用地境界確認作業を行いました。現在は、立会の結果を踏まえて用地買収の範囲などを示した図面の作成を行っており、今後、用地買収に関する説明会を開催するなど、関係者の御理解を得ながら、稲刈り後からの用地取得に向けて準備を進めております。



みやぎ県北の道路工事に伴う土砂運搬のお知らせ



ダンプに表示する目印の例



県登米土木・道路
みやぎ県北-01
施工業者名

みやぎ県北の道路工事が始まります。本工程で使用使用する盛土材等は4つのルートを使用して運搬します。

- ・ 緑色のルートは盛土材を平成27年9月以降に運搬します。
- ・ 青色のルートは盛土材を平成27年8月17日から運搬します。
- ・ ピンク色のルートは盛土材及び砕石などを運搬しています。

本工程のダンプには右上にあるような黄色の目印を表示して、管理番号や施工者名を表示しています。工事の本格化に伴いご迷惑をおかけすると思いますが、工事へのご協力よろしくお願いたします。

施工者名
 (株)丸本組 電話番号：0220-53-1586 担当：小野寺・大場
 奥田建設(株) 電話番号：0220-23-7062 担当：牛袋
 (株)只野組 電話番号：0220-23-7554 担当：三塚

問い合わせ先：宮城県東部土木事務所 登米地域事務所 道路建設第2班
 電話番号：0220-22-5115 担当：高橋・佐々木

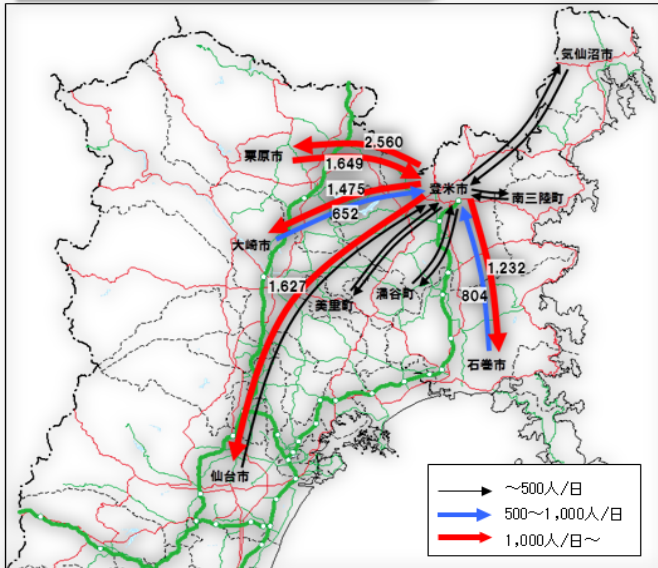
みやぎ県北高速幹線道路の整備効果 3, 4

※ 整備効果は、第9号に掲載した1及び2に引き続き掲載しました。

みやぎ県北高速幹線道路の整備効果<3 通勤・通学における利便性の向上>

- 登米市に在住し市外に通勤・通学している人は、栗原市（約2,560人）や石巻市（約1,230人）が多い。また、登米市外から登米市へ通勤・通学している人は、栗原市（約1,650人）、石巻市（約800人）方面からが多い。
- 「みやぎ県北高速幹線道路」の整備により、都市間の通勤・通学の利便性が向上するとともに、地域間交流や地域の雇用拡大、人口流出の抑止効果などへの波及効果が期待できる。

◆登米市の通勤・通学動向



<資料> H17国勢調査

★「みやぎ県北高速幹線道路」の整備により、通勤・通学の利便性が向上すると想定される道路利用者数

[登米市]

日当たり 約7,000人

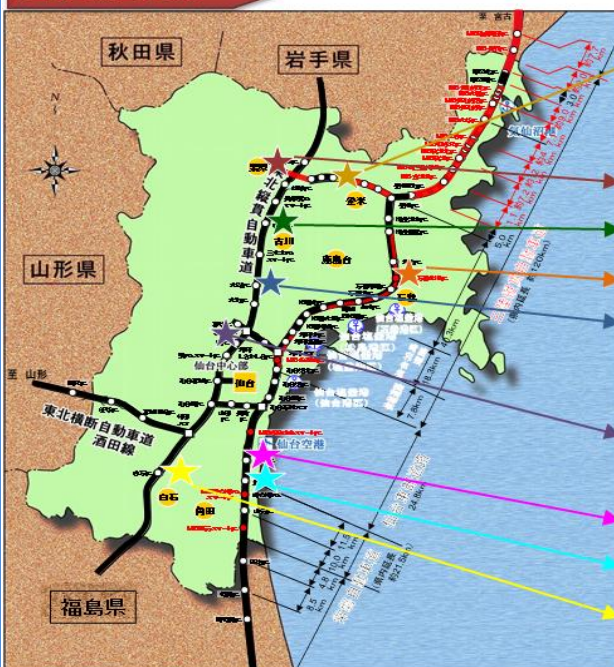
⇒ 登米市人口の約8%に相当

登米市の人口 83,763人
(H26.12月末時点)

みやぎ県北高速幹線道路の整備効果<4 産業立地へのインセンティブ>

- 本県における高速道路・港湾・鉄道及び空港などのインフラ整備の充実が、企業進出に結びついている。
- 特に、高速道路のインターチェンジへのアクセスの良好な地域への進出が目立っている状況であり、「みやぎ県北高速幹線道路」の供用により、さらなる企業立地が期待される。

◆主な企業立地状況



みやぎ県北高速幹線道路近傍の進出企業

- ★ トヨタテック東北(株) (自動車関連産業) [H22年度]
- ★ 浅井鉄工(株) (自動車関連産業) [H22年度]
- ★ 名古屋東部陸運(株) (運送業) [H22年度]
- ★ (株)I LOVE ファーム登米 (農業) [H22年度]

★ 太平洋工業(株) [H21年度]	自動車関連産業 (栗原市)
★ TG東日本(株) [H24年度]	自動車関連産業 (大崎市)
★ 南東北福山通運(株) [H18年度]	物流 (石巻市)
★ 中央精機(株) [H24年度]	日進機工(株) [H24年度]
★ セントラル自動車(株) [H19年度]	自動車関連産業 (大衡村)
★ ソラーフロンティア [H25年度]	クリーンエネルギー (大衡村)
★ 東京エレクトロン(株) [H19年度]	高度電子機械産業 (大和町)
★ コハヤシ [H25年度]	食品関連 (大和町)
★ (株)東北フジパン [H22年度]	食品製造業関連産業 (岩沼市)
★ 舞台アグリパッション [H25年度]	食品関連 (巨理町)
★ Paltac [H25年度]	日用品卸 (白石市)

※ 整備効果は、第9号に掲載した1及び2に引き続き掲載しました。

土砂災害危険箇所における注意事項

毎年各地で土石流・地すべり・がけ崩れなどの土砂災害が多発し、人命・財産に甚大な被害を及ぼしています。昨年8月20日の豪雨で発生した土石流により、被害を受けた広島市安佐南区八木の住宅地は土砂やがれきに埋もれ、住民75人が死亡、68人が負傷するという大惨事に見舞われました。

宮城県では、土砂災害への対策として、県民の方々にごが危険なのか知っていただくため、土砂災害危険区域の指定を急いで進めるとともに、危険箇所のパトロールや広報活動を行っております。

土砂災害から人命と財産を守るため、砂防工事等を進めていますが、整備はまだ十分ではありません。また、「東日本大震災」によって、地下の深いところまで地盤がゆるんでいます。土石流・地すべり・がけ崩れ等、土砂災害危険箇所の近くにお住まいの方は、これから台風などで土砂災害が多発する時期に入りますので、がけ等の様子が普段と違うときは、早めに安全なところへ避難して下さい。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ(前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

がけ崩れの前ぶれ



①がけから小石がバラバラ落ちてくる。
③斜面から水がわき出る。



②樹木がゆれたり、かたむいたりする。
④斜面にひび割れが出来る。



避難所への移動が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

土石流の前ぶれ



①川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、花火がみえたりする。
→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。



②川や沢の流れがにごり、生の木が流れてくる。
→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。



③山鳴りがする。異常なおいがする。地鳴りがする。
→上流で山が崩れているため。



④雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。
→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。



土石流から逃げる時は、川から離れてなるべく高い所にあがろう。

地すべりの前ぶれ



①池の水がにごったり、減ったりする。



②山の樹木がザワザワとさわく。木の裂ける音や木に根が切れる音がする。

③地鳴りや山鳴りがする。

④わき水がらえる。

⑤地面にひび割れや段差ができる。



河川の水防と避難判断水位

河川の水位情報
(宮城県土木部総合情報システム)



○水防とは・・・

水害の発生を警戒したり、土のうなどで水があふれるのを防ぐことを、「みず」から「ふせぐ」と書いて水防と呼んでいます。

洪水時又は洪水のおそれがある時に、地域に住んでいる方々（住民）が中心となって、土のう積みなどの水防工法で川があふれるのを防いだり、注意を呼びかけたり、避難をしたりすることにより、水害による人命・財産への被害を防止あるいは軽減することが「水防」の主な目的です。

○避難判断水位とは・・・

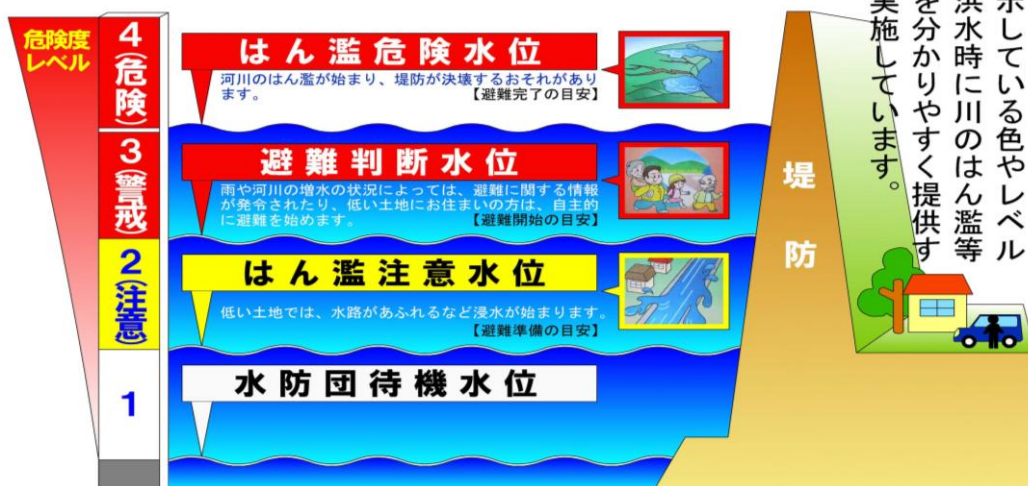
宮城県では、洪水により相当な損害が発生するおそれがある河川（水位周知河川）を指定して市町村長が発令する避難勧告や住民の方々の自主避難の目安となる水位として、避難判断水位を設定しています。

これからも、洪水による被害軽減を目的として、「避難判断水位」に達したときは、必要な情報を県民の皆様方にお知らせしていきます。

○水防警報などの基準水位を震災前の基準水位に戻しました。

宮城県では、東北地方太平洋沖地震により、堤防等の施設に甚大な被害が発生したため、水防警報などの発表基準を一部引き下げて運用してきましたが、内陸部については河川堤防の復旧により堤防としての機能が震災前と同等に回復したことから、平成27年4月1日以降は基準水位を震災前の通常基準に戻して運用することとしました。

水位危険度レベル



○ 迫川（錦橋）



【避難判断水位】

水害の発生に備えて、市町村長の避難勧告等の発令の目安となる水位です。また、住民の方々の避難判断の目安となります。

基準水位 4/1から4.60m

【はん濫注意水位】

水害の発生に備えて、水防法で定める各水防管理団体が出動する目安となる水位です。市町村長の避難準備情報等の発令の判断、住民のはん濫に関する情報への注意喚起、水防団の出動の目安となります。

基準水位 4/1から4.20m

※ 水位の表示は、量水標の値である。

橋の日パネル展を開催

8月4日は「橋の日」として、私達の生活と文化に密接な関わりを持つ橋について、興味を持っていただくため、東部土木事務所登米地域事務所では、スマイルサポーターのパネル展と併せて橋の日パネル展を開催しました。

開催日 平成27年8月4日（火）から17日（月）まで
開催場所 イオンタウン佐沼 店内通路
展示内容 登米市内の県が管理する橋の紹介 パネル16枚



みなさまが足を止め、興味を持ってパネルをご覧ください、ありがとうございました。

当事務所で管理している橋のうち、長い橋ベスト10や古い橋ベスト10、橋梁の形式、新たな橋梁計画などについて、パネル展示しました。

その内容については、次回以降の登米地域だよりで紹介しますので、ご期待下さい。

スマイルサポーターパネル展を開催

8月が「道路ふれあい月間」とされていることから、登米市内において道路や河川の美化活動に日頃から取り組んでいるスマイルサポーターの活動の様子や制度について紹介する写真パネル展を開催しました。

開催日 平成27年8月4日（火）から
17日（月）まで
開催場所 イオンタウン佐沼 店内通路



道の日 ロードクリーンキャンペーンを実施

毎年8月10日の道の日にあわせ、当事務所では、登米市内の県管理道路を清掃するクリーンキャンペーンを行っています。今年も8月7日（金）に、職員25人で主要地方道古川佐沼線（道の駅みなみかた付近）の約400mの区間のごみ拾いや除草作業などを行いました。

また、当日はスマイルサポーターのうち8団体（株式会社阿部建設、工藤建設まいろーード隊、石越町長根区、北宮城自動車学校、株式会社島津組、阿部信行さん、迫町坂戸フラワー街道倶楽部、日建工業株式会社クリーンチーム）も、それぞれの活動区間で道路の清掃などを実施してくださいました。

今後も、地域の皆さまとともに道路が美しく安全に保たれるよう努めてまいります。





スマイルサポーター紹介



県では、県が管理する道路や河川でボランティアによる美化活動を行う団体等を「スマイルサポーター」として認定しています。

このほど新しくスマイルサポーターとして認定した2つの団体をご紹介します。

○登米市スポーツ少年団野球協議会（平成27年6月6日認定）

市内のスポーツ少年団（野球チーム）に所属する小学生を中心としたメンバーによる団体です。認定式当日、活動場所の長沼ダムほのり（登米市迫町兵糧地内）などに桜の苗木を植樹しました。今後、桜の成長を見守りながら、清掃活動などを行ってまいります。



認定証を囲んで



桜の苗木を植樹

○株式会社 共立（平成27年7月24日認定）

活動区間は主要地方道古川登米線（登米市登米町寺池、金沢山）で、10人のメンバーで清掃や除草、緑化活動を行ってまいります。

鈴木代表取締役は、「会社近くの道路を自分たちできれいにし、社会に貢献していきたい」と話してくださいました。



認定式の様子



認定証を囲んで…



スマイルサポーター
イメージキャラクター

← レビアちゃん

→ すみれちゃん



～新任職員紹介～ 平成27年度

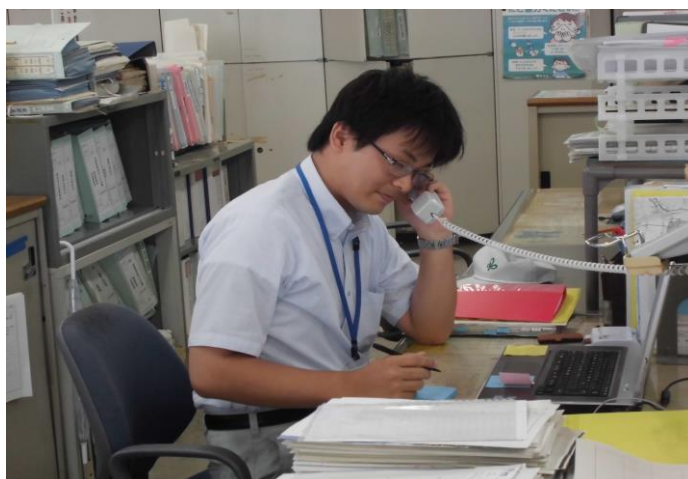
はじめまして。

今年の春から宮城県東部土木事務所登米地域事務所の行政班で占用許可を始めとする道路関係の業務を担当させていただいております大谷俊と申します。

生まれも育ちも宮城県なのですが、ずっと県南にいたため登米市に配属と聞いたときには、すぐに場所が思い浮かびませんでした。そんな土地勘のない私が、道路関係を担当させていただくことになり、最初はしっかりと仕事をこなしていけるかととても不安でした。しかし、仕事や私生活を通じて登米市のことや道路の果たす役割を知っていく中で、自分が担当している業務の重要性を実感し、責任の重さを感じると共に、仕事に対するやりがいも感じております。

また、仕事を始めてから余暇というものがどれほどありがたいものか身にしみて感じました。最近の休日は、まだ行ったところのない所にドライブに出かけたり、温泉巡りをしたりと色々してみたいはありますが、少しでも有意義に使えるようにしていきたいです。

宮城県職員として働き始めてまだ半年も経っておりませんが、いち早く一人前になれるよう努力していきます。これからもよろしくお願ひします！



(大谷主事：行政班)

編集後記

本号は、いよいよ本格的に工事が始まった「みやぎ県北高速幹線道路」の進捗状況や、整備効果を紹介しております。

また、これから台風シーズンを迎えますので、土砂災害への対応や洪水への対応として、日頃から注意すべきことや水防関係の基準水位の変更などを情報提供しました。

さらに、新たにスマイルサポーターに認定された方々の紹介などをしております。

今後もこの登米地域だよりを通して、事業概要など様々な情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

平成27年度
宮城県土木部ロゴマーク



宮城県東部土木事務所登米地域事務所

〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL：0220-22-7533

FAX：0220-22-7534

事務所ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/et-tmdbk/>

事務所代表メールアドレス

et-tmdbk@pref.miyagi.jp

